令和6年度　年間授業計画

教　科：国語　　科　目：言語文化　　単位数：2

対象学年：第1学年

使用教材	教科書：	新編言語文化（東京書籍）
	補助教材：	新編言語文化学習課題ノート、基礎から学ぶ解析古典文法三訂版

教科（　国語　）の目標

【知　識　及　び　技　能】	生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。
【学びに向かう力、人間性等】	言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目（　言語文化　）の目標

【知　識　及　び　技　能】	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

令和6年度　年間授業計画　科目（　言語文化　）

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域 話・聞	書	読	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	単元　随筆（現代文編）	指導項目に対し、次の教材等を活用する。				次の観点別評価規準に従い評価する。				
	知識及び技能	指導事項				知識・技能				
	随筆というジャンルについて理解を深め、文章中の漢字や語彙を身に付ける。	現代文の随筆				随筆というジャンルについて理解を深め、文章中の漢字や語彙を身に付けている。				
	思考力、判断力、表現力等	教材				思考・判断・表現				
	文脈の中で意味を捉え、文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈する。	さくらさくらさくら		○	○	文脈の中で意味を捉え、文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。	○	○	○	4
	学びに向かう力、人間性等	一人１台端末の活用場面				主体的に学習に取り組む態度				
	進んで随筆について理解し、文章を読み深める。	小テスト、課題の提出、語句調べ				進んで随筆について理解し、文章を読み深めている。				
	単元　古文入門（古文編）	指導項目に対し、次の教材等を活用する。				次の観点別評価規準に従い評価する。				
	知識及び技能	指導事項				知識・技能				
	古文を読む上で必要な仮名遣いや語彙、文章の特徴について理解する。	古文入門				古文を読む上で必要な仮名遣いや語彙、文章の特徴について理解している。				
	思考力、判断力、表現力等	教材				思考・判断・表現				
	古文の特徴を踏まえて、文章の内容を読み取る。	古文に親しむ、児のそら寝			○	古文の特徴を踏まえて、文章の内容を読み取っている。	○	○	○	6
	学びに向かう力、人間性等	一人１台端末の活用場面				主体的に学習に取り組む態度				
	進んで古文の特徴を理解し、言語文化に親しむ。	小テスト、課題の提出、語句調べ				進んで古文の特徴を理解し、言語文化に親しんでいる。				
	定期考査（中間考査）/返却と解説						○	○	○	2
	単元　随筆（古文編）	指導項目に対し、次の教材等を活用する。				次の観点別評価規準に従い評価する。				
	知識及び技能	指導事項				知識・技能				
	古文のきまりや特徴とともに、随筆というジャンル、作品の背景を理解する。	古文の随筆				古文のきまりや特徴とともに、随筆というジャンル、作品の背景を理解している。				
	思考力、判断力、表現力等	教材				思考・判断・表現				
	ジャンルを踏まえて文脈の中で内容を読み取り、現代との共通点や違いを考える。	徒然草、枕草子			○	ジャンルを踏まえて文脈の中で内容を読み取り、現代との共通点や違いを考えている。	○	○	○	9
	学びに向かう力、人間性等	一人１台端末の活用場面				主体的に学習に取り組む態度				
	進んで古文のきまりや特徴、古文の随筆について理解する。	小テスト、課題の提出、語句調べ				進んで古文のきまりや特徴、古文の随筆について理解している。				
	単元　小説（現代文編）	指導項目に対し、次の教材等を活用する。				次の観点別評価規準に従い評価する。				
	知識及び技能	指導事項				知識・技能				
	小説というジャンルについて理解を深め、文章中の漢字や語彙を身に付ける。	小説				小説というジャンルについて理解を深め、文章中の漢字や語彙を身に付けている。				
	思考力、判断力、表現力等	教材				思考・判断・表現				
	ジャンルを踏まえて文脈の中で内容を読み取るとともに、元になった古典作品と読み比べる。	羅生門・今昔物語集			○	ジャンルを踏まえて文脈の中で内容を読み取るとともに、元になった古典作品と読み比べている。	○	○	○	8
	学びに向かう力、人間性等	一人１台端末の活用場面				主体的に学習に取り組む態度				
	進んで作品を読み、原作との違いや創作性について考えようとする。	小テスト、課題の提出、語句調べ				進んで作品を読み、原作との違いや創作性について考えようとしている。				
	定期考査（期末考査）/返却と解説						○	○	○	2

令和6年度　年間授業計画　科目（　言語文化　）

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当時数
			話・聞	書	読					
2学期	単元　詩歌（現代文編）	指導項目に対し、次の教材等を活用する。			○	次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	5
	知識及び技能	指導事項				知識・技能				
	詩歌の短歌や散文詩というジャンルの文化的背景について理解を深め、語感を磨き語彙を豊かにする。	詩歌				詩歌の短歌や散文詩というジャンルの文化的背景について理解を深め、語感を磨き語彙を豊かにしている。				
	思考力、判断力、表現力等	教材				思考・判断・表現				
	文章の種類を踏まえ内容や構成、展開などについて叙述を基に捉え、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈する。	柳あをめる、I was born				文章の種類を踏まえ内容や構成、展開などについて叙述を基に捉え、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。				
	学びに向かう力、人間性等	一人１台端末の活用場面				主体的に学習に取り組む態度				
	進んで詩歌の特徴や表現効果を理解し、それぞれの詩歌にこめられた情景や心情を読み取ろうとする。	小テスト、課題の提出、語句調べ				進んで詩歌の特徴や表現効果を理解し、それぞれの詩歌にこめられた情景や心情を読み取ろうとしている。				
	単元　物語（古文編）	指導項目に対し、次の教材等を活用する。			○	次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	8
	知識及び技能	指導事項				知識・技能				
	古文の物語というジャンルや、特徴的な表現や語彙について理解する。	古文の物語				古文の物語というジャンルや、特徴的な表現や語彙について理解している。				
	思考力、判断力、表現力等	教材				思考・判断・表現				
	ジャンルを踏まえて文脈の中で内容を読み取り、現代との共通点や違いを考える。	伊勢物語、平家物語				ジャンルを踏まえて文脈の中で内容を読み取り、現代との共通点や違いを考えている。				
	学びに向かう力、人間性等	一人１台端末の活用場面				主体的に学習に取り組む態度				
	進んで歌物語の特徴や表現の仕方について理解し、内容を的確に捉えようとする。	小テスト、課題の提出、語句調べ				進んで歌物語の特徴や表現の仕方について理解し、内容を的確に捉えようとしている。				
	定期考査（中間考査）/返却と解説						○	○	○	2
	単元　小説（現代文編）	指導項目に対し、次の教材等を活用する。			○	次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	6
	知識及び技能	指導事項				知識・技能				
	小説というジャンルについて理解を深め、文章中の漢字や語彙を身に付ける。	現代の小説				小説というジャンルについて理解を深め、文章中の漢字や語彙を身に付けている。				
	思考力、判断力、表現力等	教材				思考・判断・表現				
	文脈の中で叙述に即して内容を読み取るとともに、小説というジャンルにおける人間表象ついて考える。	とんかつ、雨漏りの音				文脈の中で叙述に即して内容を読み取るとともに、小説というジャンルにおける人間表象ついて考えている。				
	学びに向かう力、人間性等	一人１台端末の活用場面				主体的に学習に取り組む態度				
	進んで描かれた出来事や会話、行動の描写を捉え、登場人物の心情とその変化を読み取ろうとする。	小テスト、課題の提出、語句調べ				進んで描かれた出来事や会話、行動の描写を捉え、登場人物の心情とその変化を読み取ろうとしている。				
	定期考査（期末考査）/返却と解説						○	○	○	2

令和6年度　年間授業計画　科目（　言語文化　）

	単元の具体的な指導目標		指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当時数
				話・聞	書	読					
3 学 期	単元	詩歌（古文編）	指導項目に対し、次の教材等を活用する。		○	○	次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	5
	知識及び技能		指導事項				知識・技能				
	詩歌というジャンルや特徴的な表現について理解を深め、文章中の漢字や語彙を身に付ける。		詩歌				詩歌というジャンルや特徴的な表現について理解を深め、文章中の漢字や語彙を身に付けている。				
	思考力、判断力、表現力等		教材				思考・判断・表現				
	文脈の中で意味を捉え、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈する。		折々の歌、短歌、俳句				文脈の中で意味を捉え、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。				
	学びに向かう力、人間性等		一人１台端末の活用場面				主体的に学習に取り組む態度				
	進んで詩歌の特徴や表現効果を理解し、それぞれの詩歌を読み取ろうとする。		小テスト、課題の提出、語句調べ				進んで詩歌の特徴や表現効果を理解し、それぞれの詩歌を読み取ろうとしている。				
	単元	漢文入門（漢文編）	指導項目に対し、次の教材等を活用する。		○	○	次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	9
	知識及び技能		指導事項				知識・技能				
	漢文というジャンルについて理解するとともに、漢文の読み取りに必要な基本的な知識を身に付ける。		漢文入門				漢文というジャンルについて理解するとともに、漢文の読み取りに必要な基本的な知識を身に付けている。				
	思考力、判断力、表現力等		教材				思考・判断・表現				
	漢文というジャンルを踏まえて、訓読の決まりに沿って音読や内容の読み取りができるようになる。		訓読の基本、故事成語				漢文というジャンルを踏まえて、訓読の決まりに沿って音読や内容の読み取りができている。				
	学びに向かう力、人間性等		一人１台端末の活用場面				主体的に学習に取り組む態度				
	進んで漢文の特色や訓読のきまりを理解し、文の内容を読み取る。		小テスト、課題の提出、語句調べ				進んで漢文の特色や訓読のきまりを理解し、文の内容を読み取っている。				
	定期考査（期末考査）/返却と解説							○	○	○	2
											合計
											70